

04
Lifestyle男たちよ
目覚めなさい

イラスト/ユリコフ・カワヒロ

権威を頼らぬ
本物の誇りに
「目覚めなさい」

旧

知の新聞記者から電話がありました。「小さな洋服屋さんが、フランスのバリコレクシオンでショーをしたとか、イタリアマミノコレクシオンに出たとか言って宣伝したり、お金を集めたりするケースが増えているんですけど、どうしたらいいものでしょうかね?」

言われてみれば、地方のいちブランドがバリコレに出たという話が地方紙の記事になっていたり、ミラノコレに出るからとクラウドファンディングをした個人デザイナーが数百万円を集めていたり。しかし、そうした日本の「ブランド」のことは世界のモードメディアでは一切、記事になっておらず、明らかに何かがおかしいのです。

この記者はその後、地道な取材を続け、クリスマスイブの紙面で問題を大きく取り上げました。

混乱の原因はいくつかありますが、つまりは、「パリ」「ミラノ」で箔をつけたかったブランドさんは、オフイシャルのファッションウィークには呼ばれていないけれど、その期間中にパリやミラノの別の会場で非公式なショーを行っただけ、という話なのです。

件の記者は書きます。「A新

カトリーヌ10世
Catherine X

PROFILE

グローバル化が進む
社交界事情にも通じる。
密かな趣味は人間観察と
コスプレ。好きな飲み物は
モンラッシュェ。日本では
ほとんど知られていない、
ある小国の女王との
ウワサも!?



聞がミラノ・ファッションウィークの主権者に問い合わせると「このブランドのショーと、公式のミラノ・ファッションウィークとは、何の関係もありません」という答えだった。ブランドの代表者にたずねると「公式とか非公式とかはわからない」と。

出場自慢する本人からして公式と非公式の違いがわかっておらず、さらに「ミラノコレなら凄い」と手放しで出資する日本人も後を絶たないので、そうした無知な層を狙って現地で詐欺まがいのことが行われているようだとどううす推測できますね。

こんな恥ずかしい悲劇を二度と起こさないために、まずは「コレクシオン」という日本独自の呼び方をやめ、「ファッションウィーク」と正しい呼び方に統一しましょう。さらに重要なことは、パリやミラノの権威の名に無条件に平伏してしまふ卑屈なメンタルから卒業しましょう。権威を借りずとも勝負できる本物の誇りに「目覚めなさい」。